

## 参 考 資 料

- 1 平成11年7月7日の中医協診療報酬基本問題小委員会資料(抄) . . . . . 1
- 2 平成11年12月1日の中医協総会資料(抄) . . . . . 3
- 3 平成12年1月21日の中医協総会資料(抄) . . . . . 13
- 4 平成12年2月2日の中医協総会資料(抄) . . . . . 16
- 5 「かかりつけ歯科医初診料」に係る平成12年度改定の結果 . . . . . 18
- 6 平成12年2月9日の中医協総会資料(抄) . . . . . 20
- 7 保険局医療課の検討資料 . . . . . 22
- 8 参議院議員小池晃君提出2002年度診療報酬改定に関する質問に対する答  
弁書(平成14年3月29日閣議決定)(抄) . . . . . 23
- 9 「かかりつけ歯科医初診料」に関わるアンケート調査集計結果(平成12年  
9月分調査)(平成12年10月23日、日本歯科医師会医療課) . . . . . 27
- 10 平成12年5月23日参議院国民福祉委員会議事録(抄) . . . . . 30
- 11 「疑義解釈資料の送付について」(平成12年10月27日、厚生省保険局医  
療課事務連絡)(抄) . . . . . 31
- 12 「かかりつけ歯科医初診料」に関わるアンケート調査集計結果(平成13年  
3月分調査)(平成13年4月18日、日本歯科医師会医療課) . . . . . 33
- 13 平成16年4月27日参議院厚生労働委員会議事録(抄) . . . . . 36
- 14 平成13年3月14日の中医協診療報酬基本問題小委員会資料(抄) . . . . . 37
- 15 平成13年7月25日の中医協診療報酬基本問題小委員会資料(抄) . . . . . 40

16	「かかりつけ歯科医初・再診料」に係る諸条件の見直しについて（要望）（平成13年11月26日、日歯発第1114号・日歯発第1115号）	49
17	保険局医療課歯科担当者段階の検討資料（平成13年4月17日）（抄）	51
18	保険局医療課内の勉強会資料（平成13年7月11日）（抄）	55
19	日本歯科医学会専門分科会との打合会の資料（平成13年10月10日）（抄）	63
20	保険局医療課歯科担当者段階の検討資料（平成13年11月5日）	74
21	保険局医療課歯科担当者段階の検討資料（平成13年12月27日）	76
22	保険局医療課歯科担当者段階の検討資料（平成14年1月4日）	77
23	保険局医療課歯科担当者段階の検討資料（平成14年1月9日）	78
24	保険局医療課内の勉強会資料（平成14年1月21日）	81
25	平成14年1月23日の中医協総会資料（抄）	83
26	平成14年1月30日の中医協総会資料（抄）	85
27	「かかりつけ歯科医初診料」に係る平成14年度改定の結果	87
28	平成15年3月12日の中医協診療報酬基本問題小委員会における日本歯科医師会提出資料	90
29	平成15年4月16日の中医協診療報酬基本問題小委員会資料（抄）	92
30	平成15年7月9日の中医協診療報酬基本問題小委員会資料（抄）	94
31	平成15年10月1日の中医協総会資料（抄）	100

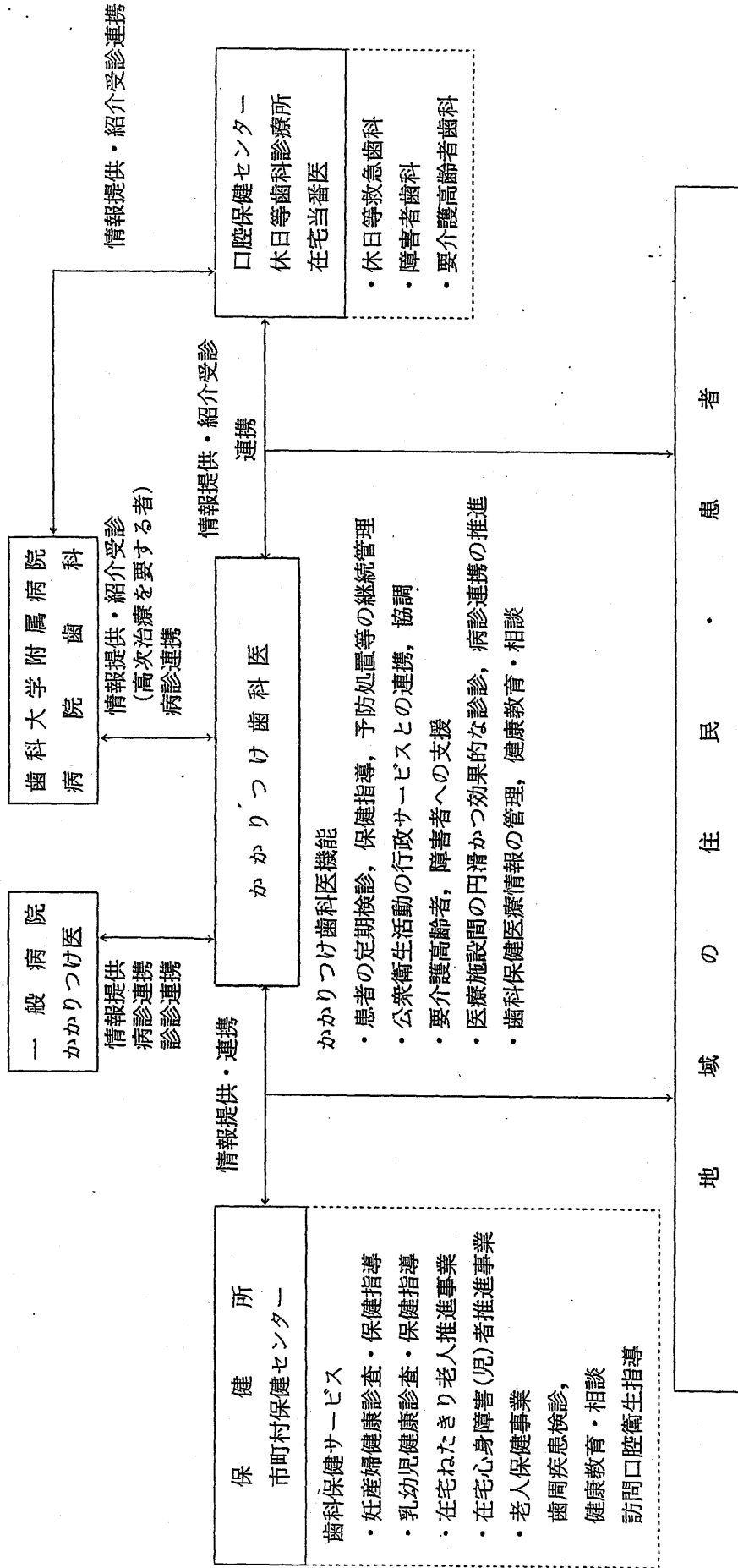
32	平成15年10月22日の中医協総会資料（抄）	102
33	平成15年11月5日の中医協診療報酬基本問題小委員会資料（抄）	105
34	平成15年12月15日の中医協総会資料（抄）	116
35	平成16年1月21日の中医協診療報酬基本問題小委員会資料（抄）	118
36	平成16年1月30日の中医協総会資料（抄）	120
37	「かかりつけ歯科医再診料」に係る平成16年度改定の結果	122

参考資料 1

## 歯科診療報酬に関する資料

- 1 中央社会医療協議会歯科小委員会報告 . . . . . 1
- 2 補綴物維持管理について . . . . . 8
- 3 齲蝕多発傾向者への齲蝕の再発抑制について . . . . . 10
- 4 歯科矯正について . . . . . 11
- 5 歯周疾患のメンテナンスについて . . . . . 12
- 6 特定薬剤・保険医療材料の費用を含む歯科医療行為の例 . . . 14
- 7 かかりつけ歯科医を取りまく歯科保健医療体系図 . . . . . 15
- 8 訪問歯科診療について . . . . . 16

かかりつけ歯科医を取りまく歯科保健医療体系図（完備型）



平成8年 今後の歯科保健医療の在り方に関する検討会  
地域歯科保健医療に関する小委員会意見

参考資料 2

診療報酬体系（医科・歯科・調剤）のあり方に関する審議の中間報告

本資料は、薬価専門部会、保険医療材料専門部会及び他審議会での審議や、自民党での検討結果等も踏まえつつ、支払側・診療側からの意見陳述を含む診療報酬基本問題小委員会における中長期的な診療報酬体系に関する審議を、当面検討を急ぐべき事項、継続して検討すべき事項に関する両側の意見を含めて、七つの大項目ごとに整理したものである。

各項目ごとに最終的な結論を得たものではないが、それぞれの事項について、できる限り今後の方向性や検討すべき事項が明確になるよう中間的にとりまとめたので報告する。

1	機能分担と連携	-----	1
2	医療技術の適正評価	-----	4
3	出来高と包括の最善の組み合わせ	-----	8
4	医療に係る情報提供の推進	-----	10
5	療養環境	-----	12
6	老人診療報酬	-----	14
7	診療報酬改定のあり方	-----	17

（診療報酬体系の見直しに関する診療報酬基本問題小委員会の審議経過）

- 5月21日 : 診療報酬体系の見直しに関する診療側意見陳述
- 5月26日 : 老人診療報酬について
- 6月 2日 : 機能分担と連携、老人診療報酬について
- 6月 9日 : 出来高と包括の組み合わせ、機能分担と連携について
- 6月30日 : 医療技術の適正評価について
- 7月 7日 : 投資的経費、医療情報、歯科診療報酬・調剤報酬について
- 10月27日 : 診療報酬体系の見直しに関する支払側意見陳述
- 11月 5日 : 診療報酬体系のあり方に関する議論の整理
- 11月17日 : 診療報酬体系のあり方に関する議論の整理

## 1 機能分担と連携

### ① 機能分担と連携の基本方針

- 患者が良質な保険診療を自らの選択で適切に受けられるよう、地域医療の提供体制の基盤となる医療法を基本として、保険医療機関等の機能分担と連携を図り、医療提供の活性化と効率化を図る。この観点から、現在の診療報酬体系を見直す。

### ② 診療実績等に応じた機能評価

- 保険医療機関等の医療の質の向上を図るため、人員配置等にのみ着目した現在の評価方法を見直し、病棟単位の入院患者の重症度、医療従事者のチームにより提供される医療の質等の診療実績に応じて評価に差異を設けるなど、機能に応じた新たな評価の仕組みについて検討する。
- このため、保険医療機関等の機能分担も踏まえつつ、診療実績として着目する指標及びその適正な把握方法等について検討する。

### ③ 外来の機能分担と連携

- 診療所及び中小病院の外来については、患者への継続性のある医学的な管理・指導などのかかりつけ医機能を重視し、大病院は入院の適正評価と併せて外来の紹介制・逆紹介制を促進する。これらを通じて大病院等における過剰な外来集中現象を解消し、適切な医療の確保を図る。
- これとあわせて、高額医療機器の適正配置・効率的使用の観点も踏まえ、高額医療機器の共同利用を促進する適正な仕組みについて検討する。

### ④ 入院の機能分担と連携

- 入院については、患者ができるだけ早期に健康に地域・家庭に復帰できる一連の医療提供の流れを構築する。このため、医療法による病床区分を基本として、急性期医療、慢性期医療、リハビリテーション、長期療養等の疾病、病状に応じた患者の医療ニーズの観点から、現行の診療報酬体系における既存の機能分担の見直しや新たな機能分担の設定、及びその連携の強化方法について検討する。
- 少子化への対応という観点から、不採算を理由に提供量が縮小する傾向にある小児の入院医療の評価のあり方について検討する。

## ⑤ 長期療養ニーズと異なる早期退院問題等の解消

- 機能分担とあわせて、長期療養という患者の医療ニーズと異なった早期退院による問題が生じないように、疾病、病状に応じた適切な保険医療機関等の選択を促進する仕組みや長期療養の機能を担う保険医療機関等の診療報酬のあり方について検討する。
- 療養担当規則に反するような不適切な付添看護がある場合には厳格に対処しその是正を図るとともに、保険医療機関の管理体制等から発生する診療上の過誤等の抑止のための方策について検討する。また、医療の質の確保・向上を図る観点から、医療機関の機能に応じた療養担当規則のあり方について検討する。

## ⑥ 特定の機能を有する医療機関の診療報酬体系

- 特定機能病院、地域医療支援病院、臨床研修病院の機能を踏まえつつ、高額になりやすい急性期医療を専門に行う大病院など、特定の機能を有する病院については、一般病院とは異なる新たな診療報酬体系のあり方を検討する。
- この場合、保険医療機関の診療報酬体系とは別の報酬体系を定めることが可能とされている特定承認保険医療機関制度の活用も検討する。

## ⑦ 歯科の機能評価

- 歯科診療所については、患者への継続性のある歯科医学的な管理・指導などのかかりつけ歯科医機能を重視し、病院歯科については病診連携に基づく高次機能の評価のあり方について検討する。

## ⑧ 保険薬局の機能評価

- 薬局については、患者への適切な指導業務などのかかりつけ薬局機能を重視し、医薬分業を適切に推進する。このため、診療報酬との整合性を図りつつ、調剤報酬のあり方について検討する。